



今回紹介するお店は、個人的に一番取材に行きたいと思っていたリカーランドドリーム。本の夢屋さんから、イケメン店長にお話聞いてきて」と紹介頂いた。

そのイケメン店長こと渡辺巧さんにお話を伺った。

ドリームは、全国展開しているお酒のチェーン店ですが、すくくアットホームで居心地のいいお店。オーナー、店長、従業員が、すくくうまくコミュニケーションが取れていて、仲の良いのが手に取るように分かる。

# 小矢部が好き

店長 渡辺 巧

No.45

「若い人たちのアルコール離れはすくく感じます。」

「そう話す店長の渡辺さんの目は、ずっとお店の入口とレジ周辺から離れない。」

「いらっしやうい。」

お客様が商品を購入するのが分かると同時に、声と足が動き、お客様に近づく。

今回の取材で一番感動したのがこの店長の動き。お客様の動きをすくく確認し、必要と思えばすくく手に手を差しのべ、商品を運ぶ。

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人とのつながり」で紹介していきます。



本の夢屋 水島さんからのご紹介

「おしゃやかな容器も用意しています。容器も楽しく選び、焼酎も自分好みの味と量を選べる。計り売りはエコです。」

「試飲もできるんで、今度は自転車まで来て下さい。」

「そう説明している時も店長の目はレジに向かっている。」

「ぼくが若い時は、友達とお酒を飲んで楽しむことにお金を使った。」

「今の若い人達は、携帯電話だったり、インターネットだったり、お金の使い方が変わった。」

「このことがお酒の売れ筋にも影響している。」



「リカーランドドリームのお勧めは、焼酎の測り売りかな。」



「気軽に家でほろ酔い。そんなイメージのお酒がよく売れます。酔ってしまつと、ネットができないとか、あるんでしょね。」

「アルコール度数が低く、おしゃやかに飲めるお酒が売れ筋です。」

「そして、ぼくが一番取材したいと思っていた理由の一つでもある疑問を投げかけた。」

「ドリームは、この小矢部ではなかなか珍しいお店だと思つう。こんな元気にお客様と接し、丁寧に商品を説明し、すくく明るく、もつとこんなお店が小矢部にあればいいと思つうのですが、今回の取材で、そんなお店の雰囲気を作っているのは、店長だと分かりました。これはどう思いますか？」

この質問にも、店長は目をすくくレジに向け答えてくれた。

「商売は、ただ売るだけでは面白くないと思つう。お客様と何でもないことを話するのが楽しい。」



リカーランドドリーム 小矢部店  
小矢部市今石動町2丁目10-5  
TEL 0766-67-8001

「価格ではない。最終的には人と人とのつながりが一番大切だと思います。それがなくなつたら終わり。」

「お客様にうるさ過ぎると言われるくらい大きな声で元気にやつているそれは、自然にやつていることで、元気のない商売は面白くないでしょ。」

渡辺店長は、富山市から通つている。

「僕は人が好きです。嫌いな人はいない。」

「夢は、もつとこの店を大きくしたい事。試飲会や交流会といったイベントも開催したいと思つています。」

最後に、すくく素敵な言葉を頂いた。

「ぼくは、小矢部が好きです。小矢部は温かい人が本場に多い。いい街だと思ついます。」

自分達の街を褒めることはとても大切だと感じました。

プレゼント



マイボトルで  
お酒を楽しんでみませんか？  
オリジナルガラスピン 5名様  
お好きな焼酎の計り売り1回無料！

募集期間：平成22年10月25日(月)まで  
PC・携帯からのご応募：<http://www.startaro.com/shop/>  
OYABE SNS会員様はキャンペーンに自動応募されます  
Oyabe Local SNS：<http://www.sns.startaro.com/>



自分の生まれ育つた街を好きになる。大切だなあ。

店長からの一言